

令和3年度 出雲市戦没者追悼・平和祈念式典 戦没者追悼・平和祈念のことば

本日、ここに出雲市民を代表して、先の大戦において尊い生命を捧げられました戦没者の方々を偲び、真の恒久平和が実現することを強く願い、誓いのことばを申しあげます。

今日の日本は、終戦直後には想像もできないほどの目覚ましい発展を遂げました。

現在、私たちが享受している平和と繁栄は、祖国を思い、家族を案じつつ、心ならずも戦場に散っていかれた尊い犠牲の上に築かれたものであり、また、最愛のご家族を失いながらも、その苦しみと戦後の混乱に耐えながら、日本社会を支えてこられたご遺族の皆様の、たゆまぬご努力があることを決して忘れてはなりません。

本日、平和を祈念するにあたり、祖国のために亡くなられた戦没者の方々に対し、深く哀悼の意を表するとともに、ご遺族の皆様に対し、心から敬意を表します。

平和で豊かな今日においてこそ、戦争の悲惨さ、そして平和の尊さを、次の世代を担う子どもたちに引き継いでいくことが、今を生きる私たちに課せられた大切な使命であります。

未だ終息の見えない新型コロナウイルス感染症は、私たちの生活に大きな影響を与え続け、また、近年は全国各地で大規模な自然災害が頻発し、多くの尊い人命が失われています。この出雲市におきましても、先般の災害により甚大な被害が発生しました。このような状況においても、市政を着実に『前へ』進め、英霊がこよなく愛した、この出雲の地の限りない発展のため、全力を尽くすこととお誓い申しあげます。

終わりに、戦没者の方々の安らかなご冥福と、ご遺族の皆さまのご平安を心からお祈り申しあげますとともに、本日ご列席の皆さまのご健勝、ご多幸をお祈りし、戦没者追悼・平和祈念のことばといたします。

令和3年8月11日

出雲市長 飯塚 俊之